

草原再生協議会よりあか牛の贈呈

褐毛和種繁殖素牛寄贈式について

農業食品科主任 山本 孝博

草原再生基金第三弾助成事業

りました。

業「褐毛和種の飼育技術をと
おして、畜産経営農家及び草
原維持を担う人材育成」に認
証されました。これを受け、五
月二十三日に農業食品科担い
手類型二年生と関係者計四十
名が参加して寄贈式が行われ
ました。寄贈された二頭のう
ち一頭は草原再生協議会、も
う一頭は篤志家二名の方から
のもので、式は、草原再生協
議会会長挨拶が行われ、続け
て、目録贈呈、目録は、山下照
喜校長先生と生徒代表二年農
業食品科市原聖矢君が受け取

ました。

その後、山下校長先生から
の謝辞、生徒代表宣誓を市原
君が行いました。
当日は、阿蘇市のあか牛く
んも参加し賑やかに終了しま
した。



五月二十三日には褐毛和種繁
殖素牛寄贈式がありました。式
が行われ、とても責任を感じま
した。寄贈いただいた素牛を大
切に育て学習し、あか牛の良さ
を阿蘇から発信し、全国の皆様
に知っていただけるよう努力
していきたいと生徒代表宣誓
を行いました。寄贈していただ
いた草原再生協議会の先生方
から、地域に根ざしたリーダー
となれるようにと激励の言
葉をいただき、身の引き締まる
思いでした。二頭のあか牛を大
切に育て、肉用牛の飼育の基礎

参加して

農業食品科二年

市原 聖矢

基本を学び、阿蘇の地域性をい
かしたものに繋げていけるよ
う努力していきたいと思いま
す。
最後に寄贈いただいた皆様
に感謝します。



あか牛オリジナル料理ができました！

農業食品科三年

井 星 斗

あか牛料理を終えて、一番
の目的はあか牛を全国に広
めることでしたが、一番良
かったのは、みんなで協力し
て楽しく料理ができたこと
です。めったにクラス全員で
作る機会なんてないので、と
ても楽しく作ることができ
ました。その成果があつたの
か、タコライスとおかわりが阿
蘇道の駅で販売が決まりま
した。

これは、高校としても阿蘇
としてもいいことだと思ひ
ます。他にもハヤシカレー、あ
か牛コロッケ、ミートソース
とみんな一生懸命に作って
いて、食べに来た人たちに聞

農業食品科三年

倉岡 竜聖

私達が赤牛おかわりを提案
したのは、阿蘇の草原で自然
を見ながら手軽に食べられ
るものを作りたいと思った
からです。
実際に作ってみて、材料の

いてみると、「とても美味し
い」と言ってくれ、僕たち
が作った側としては、「美味し
い」という言葉が一番の励み
です。
僕は将来京都に行って、和
食屋さんで働きたいという
夢があります。そして、また、
この阿蘇に帰ってきてあか
牛や阿蘇の野菜を使ったお
店を開きたいです。

量と味付け調味料の分量な
ど難しいことが多くあり、成
功するか不安でした。です
が、試作の段階では成功し
て、きちんと出来上がって
おり、味の方も美味しく仕上
がっていました。

本番は、かまの熱や水の量
が原因で失敗してしまい悔
しい思いをしました。でも、
失敗したにも拘わらず道の
駅阿蘇で採用され私達が
作ってきたものより数段美
味しくなつて観光客に提供
されています。

私達は失敗してしまいま
したが、色んな人達に美味し
く食べられているので、自分
達が成功したことのように
嬉しく思っています。

一年生が機械で田植え

阿蘇清峰校舎農業食品科では、毎年一年生は授業で田植
えの実習があります。はじめて機械を使って田植えをした
生徒たちは真つ直ぐ植えることが出来たでしょうか。

田植えを終えて

農業食品科一年

岡 奎哉

僕は、はじめて田植えを田植
え機に乗ってしました。最初
は、難しそうというイメージ
だったけど、後藤先生がとて
も優しく教えて下さったお
かげでうまく田植えをするこ
うになりました。僕他にも田植
え機に乗ってした人がいるけ
れど、やっぱりその中でだん
とつてうまかった自分はずこ
いと思ひました。そして、やっ
ぱり自分には才能があるとい
うことに改めて気づくことが
でき、本当いい経験ができて嬉



田植えをして

農業食品科一年

杉谷 理志

自分は、初めて田植え機に
乗って感じた事は、生徒で一番
最初に乗りとても緊張しまし
た。少しハンドルを切るだけで
曲がったのでこの機械の運転
は難しいと思ひました。でもし
ていくうちにだんだん楽しく
なってきたので次の人と変
わつたのでとても残念でした。
この機会を通して思つた事
は、何事にも全力でチャレン
ジしていくことが大切だとわ
かりました。このことをきつ
かけにして何事にもチャレン
ジしていき、いろいろなこと
を身に付けて、大人になった
時に役に立てるようにしてい
きたい。

「今年もお米甲子園でNO1
とれるような米を作る！」

農業機械に乗った感想

農業食品科一年

鳴川 龍義

自分は、初めて農業機械に
乗った感想は、田植えをして
いる時まつすぐいけない、隣
のイネをつぶすなど難しいこ
とばかりでした。自分の家で
も米を作っているの、農業
機械に乗る機会がいっぱいあ
ります。だから今回の失敗を
家ではしないようにしたいと
思ひました。そして、家でも
農業の手伝いをして農業機械
の難しさに少しでも慣れるよ
うにしたいです。本当に今回
の田植えで学んだことがいっ
ぱいあつたので、学んだこと
を忘れないでこれからもたくさ
ん学んでいきたいと思ひまし
た。

「日本一の米を今年も作る
ぞ!!」

農業クラブ連盟年次大会二部門で優秀賞受賞

第六十四回熊本県学校農
業クラブ連盟年次大会が六
月十三日・十四日に南陵高
校で開催されました。本校
から意見発表三名、プロ
ジェクト発表二組が出場し
ました。大会では六部門に
県下農業関係高校十二校一
分校の代表が出場しまし
た。結果、意見発表ではグ
リーン環境科三年岩下大地
君が「阿蘇の草原を守る」で
優秀賞、プロジェクト発表
ではグリーン環境科三年岩
下大地君、今村拓哉君、古賀



力矢君、江藤隆貴君の発表
「草原再生プロジェクト」
千年の草原を未来へ」で
も優秀賞を受賞しました。

グリーン環境科三年

岩下 大地

今回意見発表とプロジェクト
発表で優秀賞を取ることがで
きました。両方に出るというこ
だったので練習はとても大変
でした。意見発表では原稿書き、暗
記、表現の工夫など多くの先生方
に指導してもらい何十回も練習
しました。プロジェクト発表で
は、スライド、資料づくりを夜連
くまでやり、休日もなく練習しま
した。他の三人のメンバーがいた
からとれた賞だと思います。
今回の優秀賞は先生方や周り

プロジェクト発表
優秀賞賞状



意見発表
優秀賞賞状

